

．学術研修部

著しい医学の発展に支えられ、産婦人科医療は着実に進歩を遂げている。しかし、その一方で、高齢化社会の到来、分娩数の減少、医事紛争の多発などの社会情勢が産婦人科医療のあり方に警鐘を鳴らし始めた。

学術研修部としても、医療現場での需要の変化に対応し、時勢に遅れないよう新しい情報を適宜会員に供給しつつ、研修の実を上げなければならない。

新しい方向として、産婦人科を女性のライフサイクルすべてに関与する「女性診療科」として位置づけ、その観点から、今後更に増加する高齢者の医療や在宅医療、他科との境界医療などの領域で、女性特有の問題に積極的に関わっていくための研修を提供し、また、医事紛争の原因となることが多い分娩管理や手術療法に関する研修をこれまで以上に重視していく必要があると考えている。

上記の方針に従い、本年度は以下の事業を行った。

1．研修資料の作成

(1) 平成15年度会員研修ノート・CD-ROM作成 (下記 1) ~ 2))

1) 「妊娠と感染症」(研修ノートNo.70)

分担執筆 (11名) による原稿を委員会で検討し、平成16年3月に完成させ、研修ノートと共にCD-ROM (下記 2) を含む) を各支部と全会員へ配布した。同時にそれらを本部にデジタル保存した。

2) 「内視鏡下手術」(研修ノートNo.71)

分担執筆 (12名) による原稿を研修委員会で検討し、平成15年10月に完成させ、研修ノートを各支部と全会員へ配布した。なお、CD-ROMは「妊娠と感染症」と合わせて1枚とし各支部と全会員に配布した。本部にデジタル保存した。

(2) 平成16年度会員研修ノート・CD-ROM作成 (下記 1) ~ 2))

前年度に選定された平成16年度研修テーマ下記2題について、会員研修に有効活用されるよう内容・構成を検討した。

1) 婦人科における院内感染とリスクマネジメント (研修ノートNo.72)

執筆者：分担執筆者 (5名)

2) 不正性器出血 (研修ノートNo.73)

執筆者：分担執筆者 (4名)

2．平成17年度研修テーマの選定

平成17年度の会員研修テーマとして下記2題を選定した。なお、執筆者については、研修委員会にて執筆項目を作成してから選定することとした。

1) 超音波診断 (No.74)

執筆者：未定

2) 痛みの診断と治療 (No.75)

執筆者：未定

3．生涯教育への協力

第30回日本産婦人科医会学術集会・徳島大会 (平成15年10月12日) 前日の生涯研修プロゲ

ラム（平成15年10月11日）における学術講演会の開催に協力した。講演内容はビデオに収録された。

4．学術研修情報の提供

（1）日産婦医会「研修ニュース」の発刊

即時性のある研修情報の提供をはかるため、本年度は研修ニュースNo.10「静脈血栓塞栓症」（平成16年3月）を作成し、会員に配布した。また、研修ノートNo.70「妊娠と感染症」をもとに作成した患者向け小冊子「自分を守るための性感染症の知識」を作成し、配布した。

（2）日産婦医会報「学術欄」の担当

広報部はじめ関連各部の協力を得て、研修委員会がテーマ、執筆者の選定を行い、原稿の内容を検討した上で、日産婦医会報「学術欄」に以下を掲載した。

- 2003年 -

- 4月号：産婦人科臨床における遺伝
- 5月号：妊娠中の航空機搭乗に際しての注意点
- 6月号：診断群分類 - DRGおよびDPCについて
- 7月号：妊娠と卵巣腫瘍
- 8月号：排卵誘発と卵巣癌発生リスク
- 9月号：妊娠中の脳出血・脳梗塞
- 10月号：肺血栓塞栓症の実態
- 11月号：習慣流産の診断と治療
- 12月号：妊娠糖尿病のスクリーニング

- 2004年 -

- 1月号：妊婦とインフルエンザ
- 2月号：放射線被曝と先天異常
- 3月号：妊娠と喫煙による影響

5．委員会

以下のごとく委員会を8回開催し、その他打合会を開催した。

[第1回]平成15年6月4日 日本産婦人科医会会議室

出席者：是澤委員長 他18名

- （1）本年度事業のタイムスケジュールについて
- （2）研修ノートNo.70、71の校正担当者について
- （3）平成17年度研修テーマの選定について
- （4）平成16年日本産科婦人科学会学術集会・生涯研修プログラム共同企画について

[第2回]平成15年7月9日 日本産婦人科医会会議室

出席者：是澤委員長 他17名

- （1）日産婦医会報「学術欄」のテーマ&執筆者(案)選定について
- （2）平成17年度研修テーマ(案)選定について
- （3）平成16年日本産科婦人科学会学術集会・生涯研修の座長・演者(案)について
- （4）研修ノートNo.70、71のゲラ校正について

- [第 3 回] 平成15年 8 月 9 日 日本産婦人科医会会議室
出席者：是澤委員長 他16名
(1) 平成16年度日本産科婦人科学会学術集会・生涯研修の演者(案)について
(2) 平成16年度研修ノートの項目・執筆者(案)について
(3) 研修ノートNo.71「内視鏡下手術」のゲラ校正について
- [第 4 回] 平成15年 9 月18日 日本産婦人科医会会議室
出席者：是澤委員長 他19名
(1) 平成17年度研修テーマ(案)選定について
(2) 研修ノートNo.72、73の項目(案)について
(3) 研修ノートNo.70「妊娠と感染症」の校正について
- [第 5 回] 平成15年10月29日 日本産婦人科医会会議室
出席者：是澤委員長 他16名
(1) 研修ノートNo.70「妊娠と感染症」の校正について
(2) 日産婦医会報「学術欄」のテーマ・執筆者(案)選定について
- [第 6 回] 平成15年11月10日 日本産婦人科医会会議室
出席者：是澤委員長 他14名
(1) 日産婦医会報「学術欄」のテーマ・執筆者(案)について
(2) 研修ノートNo.72、73の項目・執筆者(案)について
(3) 研修ノートNo.70「妊娠と感染症」の追加校正について
- [第 7 回] 平成15年12月18日 「茶寮一松」
出席者：是澤委員長 他14名
(1) 研修ノートNo.70「妊娠と感染症」の最終校正について
(2) 平成16年度事業計画、予算(案)について
- [第 8 回] 平成16年 3 月10日 日本産婦人科医会会議室
出席者：春日副委員長 他17名
(1) 日産婦医会報「学術欄」のテーマ・執筆者(案)について
(2) 小冊子「自分を守るための性感染症の知識」ゲラ原稿校正について
(3) 平成16年度日本産科婦人科学会学術集会の講演について